

避難場所・避難経路の記入例

○台風・大雨による洪水・高潮等の風水害の場合

記入例①

	避難場所	特別養護老人ホーム●●	避難手段	送迎車（又は、自家用車）
経路	【高齢者等避難の発令】（洪水、高潮等の風水害） ・天気予報等で風水害が予測される場合は、事前に緊急ショートステイ（特養等の名称）を利用し、安全を確保する。 ⇒利用の際は、担当ケアマネジャーに調整を行ってもらう。			

記入例②

	避難場所	妹（氏名）の自宅	避難手段	介護タクシー
経路	【高齢者等避難の発令】（洪水、高潮等の風水害） ・天気予報等で風水害が予測される場合は、事前に妹（氏名）の自宅（住所）に避難する。			

記入例③

	避難場所	●●小学校	避難手段	車いす（介助）
経路	【高齢者等避難の発令】（洪水、高潮等の風水害） ・高齢者等避難が発令された場合、家族の車いす介助により、避難所●●小学校へ避難する。 ⇒避難に備え、非常持ち出し品の準備を実施。 ・長期化する場合は担当ケアマネジャーに緊急ショートステイの利用調整を行ってもらう。			

記入例④

	避難場所	自宅	避難手段	備蓄計画
経路	【高齢者等避難の発令】（洪水、高潮等の風水害） ・自宅避難に備え、1週間分の備蓄計画の実施。 【水（1日3ℓ）・食料・オムツ・（その他要支援者に必要なもの）】			

○地震の場合

記入例⑤

	避難場所	●●小学校	避難手段	車いす（介助）
経路	【津波・大津波警報の発表】（地震） ・家族の車いす介助により、避難所●●小学校へ避難する。 ⇒避難に備え、非常持ち出し品の準備を実施。 ・長期化する場合は●●病院へ受入れ相談をする。			

記入例⑥

	避難場所	自宅マンション（団地）●階 又は、上階へ	避難手段	備蓄計画
経路	【津波・大津波警報の発表】（地震） ・建物が倒壊していない場合は自宅マンション（団地）●階で自宅避難する。 （※低層階の場合は、上階へ垂直避難） ⇒避難に備え1週間分の備蓄計画の実施。 【水（1日3ℓ）・食料・オムツ・（その他要支援者に必要なもの）】 ・継続して自宅避難が困難な場合⇒担当ケアマネジャーに緊急ショートステイの利用調整を行ってもらう。			

○備考欄

備考	・（ベッド周辺・玄関までの通路等）棚、タンス等を突っ張り棒等で固定対策を実施。 ・窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る。 ・テレビ、堺市ライン、緊急速報メール（携帯事業者経由）により情報収集を実施。 ・避難に備え、非常持ち出し品の準備を実施。
----	--